

〇ふるさと活性化への提案

～香美町長に卒業論文集を手渡す～



8月16日(金)本校の卒業生で鳥取大学地域学部1年生の小林笑果さんと井端実優さんが、香美町役場を訪問、浜上香美町長に2017年度、2018年度地域創造系の卒業論文を手渡し、自分たちが研究してきたふるさとに活力をもたらす方策について意見を述べました。2人は、7月の地域づくりサミットでもパネリストとして協力してくれています。

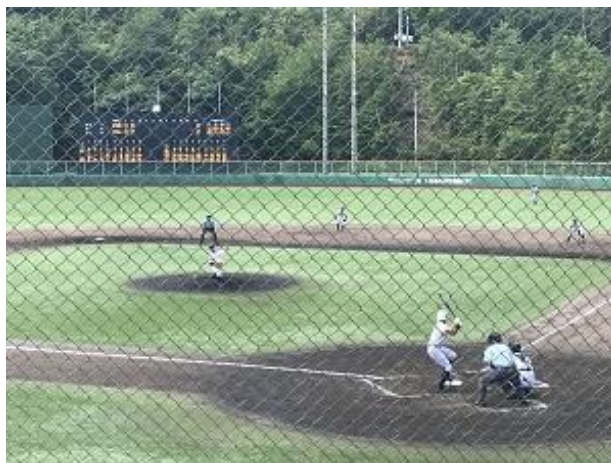
浜上町長は、大学でもさらに学びを深めて香美町を盛り上げる提案をしてほしいと2人に応えられました。この様子は、日本海新聞でも取材していただきました。

〇ミスは出る、そこからどう戦うか

～野球秋季大会開幕～

8月17日(土)豊岡こうのとり球場で秋季高校野球の但丹地区予選が開幕しました。オープニングゲームで、本校は和田山高校と対戦。今大会では、浜坂、生野が部員不足で出場できていません。本校も昨年度は、部員不足で他の部活動から助っ人を借りての出場でしたが、今年は多くの1年生部員の入部があり、野球部単独での出場を果たしました。

梅雨明けから続いた猛暑のなか、練習を積んできましたが、経験不足は否めず、ミスからの失点が続きます。また、前半のノーアウト2、3塁のチャンスをクリーンアップがもののでできなかったことが響き、7回コールド負けという残念な結果に終わりました。秋の大会は、敗者復活戦があります。試合まで時間はあまりありませんが、修正して敗者復活戦に臨んでほしいと思います。



また同日、但馬文教府夏期大学が豊岡市民会館で行われました。野球部の試合の後参加し、午後からの「西郷どん」「Dr-X 外科医大門未知子」等の作品で有名な、脚本家中園ミホさんの講演を聞くことができました。取材される人の心の奥にある、「本音」の部分をかき引き出す取材をするかが、テレビを見た人が元気になる作品(脚本)作りの大きなポイントだと話されていました。